

# 防振ゴム使用上の注意



ご使用際は、下記の項目にご注意ください

## 1. 設置環境

下記の環境で防振ゴムを使用することはご遠慮ください。

### ① 低温、高温

使用可能雰囲気温度：-30℃～50℃（天然ゴム材質）  
防振ゴムの近くで溶接工事等、熱が発生する工事をする際は  
防振ゴムに熱が伝わらないよう特に注意してください。

### ② 油類及び薬品

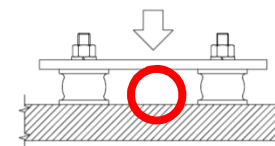
万が一防振ゴムに付着した場合はお拭きとりください。

### ③ 直射日光、潮風、水、海水、塩分

屋外や水中での使用はご遠慮ください。

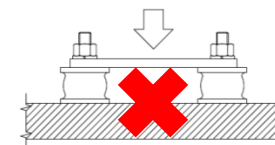
## 2. 設置状態

防振ゴムは、金具全面で均等荷重を受けるよう設置ください。

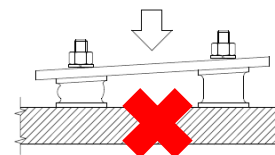


下記の設置はご遠慮ください。

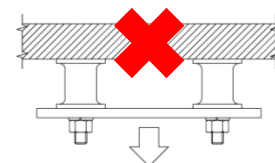
① 一部受け 防振ゴムは金具全面で荷重を受けるよう設置ください。



② 偏荷重 機器に偏荷重がある場合は、防振ゴムにかかる荷重が均等荷重となるよう設置ください。



③ 引張荷重 防振ゴムに引張荷重がかからないよう設置ください。



# 防振ゴム使用上の注意

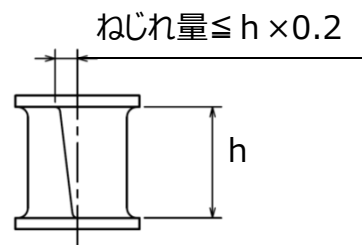


ご使用際は、下記の項目にご注意ください

## 3.ねじれ量

防振ゴムをねじで締結する際、ゴム部がねじれる恐れがあります。ゴム本体を保持しねじれないようにお取付ください。

万が一ねじれが発生する場合は、ねじれ量をゴム高さの20%以下に抑えてください。



## 4.ブルーム現象

防振ゴムを長期間保管、使用していると、ゴムの表面にブルームと呼ばれる白い粉が発生する場合があります。

ブルームは、ゴム中の配合材料がゴム表面に出てくるもので、特性上問題となることがないばかりかゴムの耐オゾン性を向上させます。

ブルームの発生時には拭き取らず、そのままにしてください。



ブルーム

## 5.保管環境

防振ゴムを長期間保管しておく特性が変化します。ゴムの劣化を防ぐために下記の項目にご注意ください。

- ①保管場所： 冷暗所  
防振ゴムは直射日光や高温の雰囲気です劣化しやすくなります。
- ②保管期間： 納入後5年以内

## 6.定期点検

下記項目について、防振ゴムの定期点検を実施ください。

- ①ゴムと金具の剥がれ
- ②ゴムの割れ
- ③金具の腐食、割れ

